

第4次那覇市総合計画

【市花／ブーゲンビレア】

ブラジル原産の蔓性低木。沖縄では1年を通して開花し、色は赤、ピンク、黄色、混色と多彩。土壌適応性が広くて乾燥にも強く、鉢植えや生垣、門柱、アーチなどに広く利用されています。



第4次那覇市総合計画の策定にあたって

那覇市は、亜熱帯の気候と風土に育まれたゆたかな文化を持ち、琉球国の王都・商都としてアジア諸国との交流を軸に発展してきた長い歴史があります。大戦後は、米軍統治下での復興、そして日本復帰と、激動の時代を歩んできました。その逆境を、互いに助けあうやさしさと逞しきで乗り越えてきた多くの先達を誇りに思うものであります。

私たちには、その誇りある伝統や歴史、文化を引き継ぎ、次代へ継承していく大きな責任があります。

昨今の社会状況を見ますと、経済のグローバル化が加速する中で、地球規模で環境問題が深刻さを増しつつあります。また、国内では、少子高齢化、高度情報化や地方分権の進展など、これまでにない大きな変革がすすんでおり、これからのまちづくりは、しっかりと目標を定めて対応していくことが必要となってきました。

ここに策定した第4次那覇市総合計画は、このような社会状況を背景に、市民本位の自治と持続可能な発展を実現するための市政運営の基本的な方向を定めたものです。計画策定にあたっては、生活者の視点を重視した計画となるよう、公募市民による「未来を考えるなは市民会議」のご提案や市民アンケートの結果などを参考にしております。

まちづくりの理念に掲げた「なはが好き！みんなで創ろう、子どもの笑顔が輝くまち」を合言葉に、市民と行政が力をあわせて協働の取り組みをすすめ、市民の幸せ感を第一としたまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

ご提案をいただきました市民会議の皆さま、市民アンケートや団体アンケートにご協力いただいた皆さま、そして専門的な観点から貴重なご意見をくださいました那覇市総合計画審議会委員の皆さまには、心より感謝を申し上げます。

本市職員には本計画実現に向けたさらなる努力を、市民の皆さまには市政へのご参画とご支援をお願いいたしまして、第4次那覇市総合計画策定のごあいさつといたします。